

駒西小学校PTA

PTA改革トライアル案補足説明と 組織・活動の見直しについて

～委員会の一部の活動をボランティア制にシフトへ～

1. PTA改革案トライアルにむけての背景概要
2. 4つの委員会廃止について
3. ボランティア活動について
4. アンケート設問の補足や経緯説明

できる人が
できる時に
できる事を



1 .PTA改革案トライアルにむけての背景概要

なぜ、今 PTA改革なのか？

PTA本部は【子供たちの為にPTAが出来る事】を探し、
【世の中の変化に対応し存続出来るPTA】
【誰しものが担える本部役員】を目指して活動しております。

先行き不透明なコロナ禍において、持続可能なPTA活動のためにも、学校・家庭・地域が一体となって子どもを支える連携・協働体制を新体制でトライアル経て確立させていきたいと思っております。

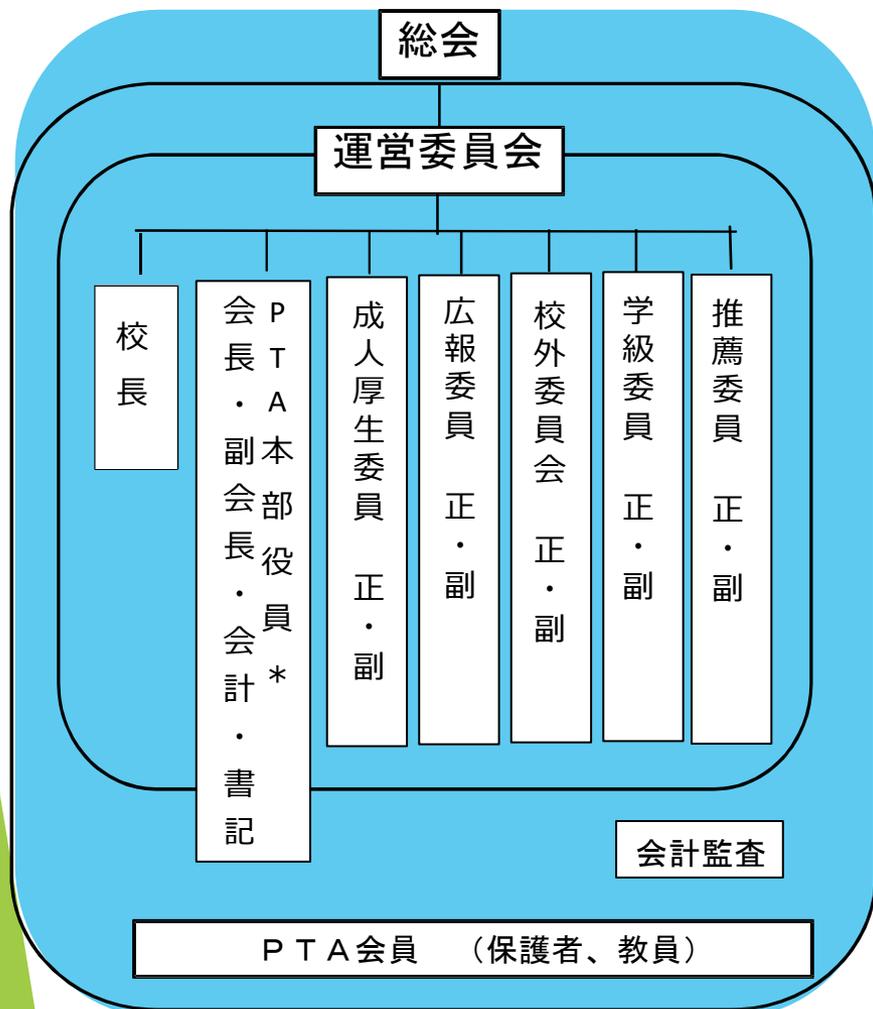


持続可能なPTA活動へ

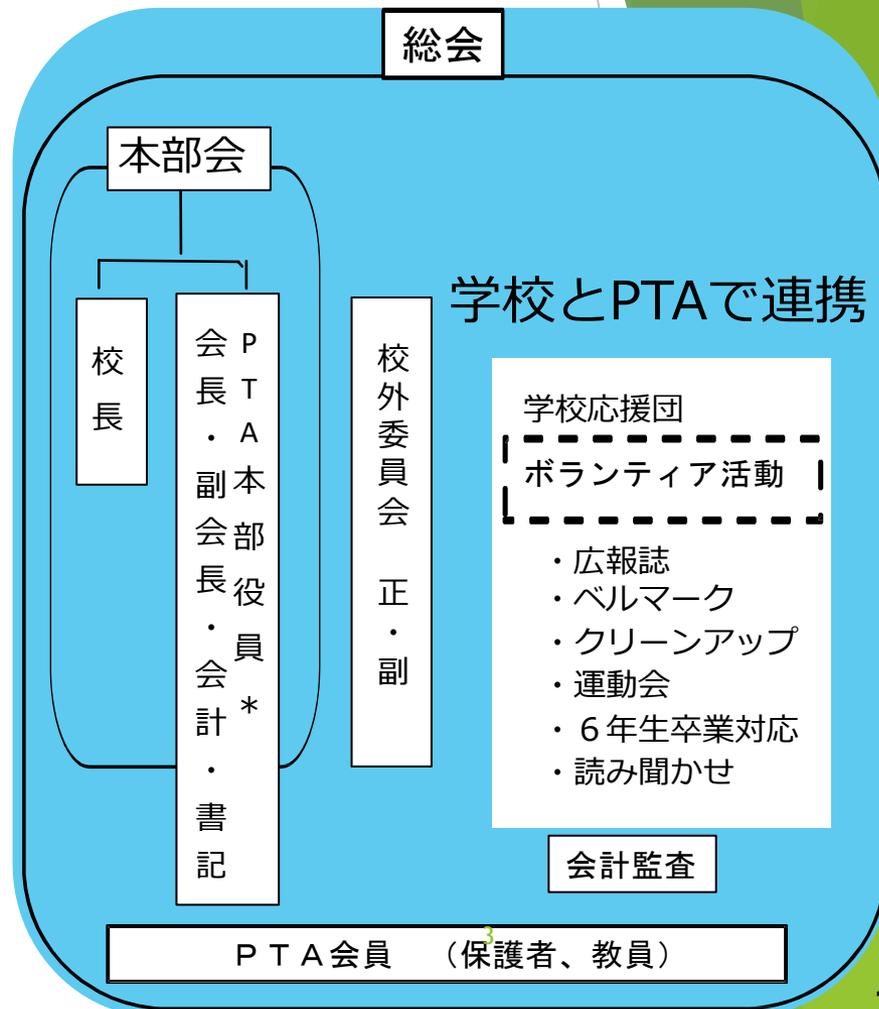
時代の流れに合ったPTA会員が求めるPTA活動へ

改革組織図 (案)

現組織



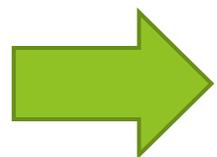
新組織 (案)



*PTA本部役員には教員が含まれています：【副会長】教頭、【書記】教務主任

2. 4つの委員会の廃止について

成人厚生委員、広報委員、学級委員
本部役員推薦委員



ボランティア制へシフト

学校支援のためのボランティア活動

= 学校応援団との連携

- ・ベルマーク運動
- ・広報誌「駒」発行
- ・クリーンアップ
- ・読み聞かせ
- ・見守り隊

他



学校応援団とは：

学校と子どもを応援できるボランティア活動

地域の皆様、そして、保護者の皆様に学校を支援するための活動を行っているボランティア団体です。

「できる人が、できる時に、できることをやろう！」
をモットーに、無理のない範囲で活動しています。

PTA本部は学校主体の学校応援団と連携し、
自主性のあるボランティア活動への基盤をつくっていきます。

学校・家庭・地域が一体となり、学校と子どもを応援できる
ボランティア活動

「学校応援団活動の活性化へ！」



3. ボランティア活動について

- ①ボランティアの種類
- ②ボランティア募集方法
- ③各ボランティアとPTA本部担当窓口
- ④ボランティア制移行における想定される懸念事項に対する対応策
- ⑤ボランティア制移行スケジュール案



①ボランティアの種類

コロナ禍を配慮。子供も大人も安全に、柔軟に活動

できる時に
できる人ができる事で
参加

読み聞かせ

朝学習の15分間に
児童に絵本の読み聞かせを行う

【活動時期】
2, 3学期に月1回程度。

1度だけでもOK。
友達と2人での読み聞かせも
OK。

広報誌発行

広報誌「駒」の発行
年1~2回

保護者が見られない児童の
学校での様子等や先生紹介
等を掲載。

【活動時期（暫定）】
5月~9月
9月~3月

6年生卒業対応

6年生先生への記念品の
検討、準備

【活動時期】
10月~3月

【ボランティア募集対象】
6年生保護者

ベルマーク運動

ベルマークの小集計（自宅）、
本集計

【活動時期】
学期に1度目安



他にも学校主体
の学習支援ボラ
ンティアもあり
ます。

クリーンアップ

校庭の除草、清掃、花壇の整
備などの環境整備。

子ども達の学校生活の様子を
作業しながら見られます。
月1回 程度

*親子での除草、清掃活動も
あります。（年2回程度）

運動会

運動会当日に新入生競技の
手伝い。後片付けの手伝い。

低学年児童の補助手伝い

見守り隊

保護者が気軽に子どもた
ちの様子を見に行ける日

【実施時期】
1のつく日
（5月~3月）

広報ボランティア



●ボランティア内容：

広報誌「駒」の発行 年1～2回に制作、発行

- ・発案
- ・発行作業
 - ・データ入稿<ネットプリント利用時>
- もしくは
 - ・画像データ、文字データ入稿<従来の印刷会社>

ベルマークボランティア

ベルマーク回収ポケットやインクカートリッジ回収箱
を設置し、児童も保護者も関われる活動

(詳細は次ページ)



ベルマーク運動 子供も保護者も一緒に活動

提案：ベルマークポケットを学校廊下壁に設置

- ① 集めたベルマークを
児童が
ポケットに仕分ける



- ② 自宅で小集計作業。

- ③ 小集計済みのベルマークを本集計作業



ベルマーク運動 子供も保護者も一緒に活動 〈インクカートリッジ〉

提案：学校廊下

① インクカートリッジを 児童が回収箱に仕分ける



② ボランティア活動日に 整理や発送作業を行う

ベルマークやカートリッジを1か所で回収し効率UP。

6年生卒業対応ボランティア

- ・ 2学期9月頃
6年生保護者に書面にてボランティアを募集。
児童を通じて、卒対説明会の書面を渡す。

説明会にて、予算、流れなど説明。
ボランティアで打ち合わせ、進行。



運動会ボランティア



書面にて運動会ボランティアを募集。

- 運動会当日：
PTA本部運動会担当がボランティアの方へ説明。
PTA本部本部全体でスムーズに進行できるようにサポート。



②ボランティア募集方法

必要に応じて

- ・一斉メール
- ・書面での募集
- ・グループLINEを利用した募集

今日だったら時間あるから行こうっと

子どもの様子も見られるしね

また予定合えば来てみよう



ボランティア
募集中



③各ボランティアとPTA本部担当窓口



PTA本部
副会長：
各担当

広報ボランティア：連絡係

ベルマークボランティア



6年生卒対ボランティア：連絡係



運動会ボランティア



クリーンアップボランティア



読み聞かせボランティア



④ ボランティア制移行における想定される懸念事項に対する対応策



・ 募集に対し参加者が確保できないのでは？



協力してくれる方々と作業内容とのバランスを
考えての活動内容になるように考えていきます。

絶対的な活動ではないので、人数が集まらないような場合
には、時に活動をお休みにしたりと、懸念事項があれば学校
側とも相談しながら、柔軟な活動を目指します。

できる人が、できる時に、できる事にて、できる範囲で
ご協力いただければと思います。

また、PTA本部もボランティア活動について周知を務めます。

ボランティア制移行において想定される 懸念事項に対する対応策



本部の仕事量が増えてしまうのでは？
本部役員を希望する人が減るのでは？

➔ 2021年のトライアル年度は、ボランティアの基盤づくりの仕事量が増えてしまうかもしれません。

トライアル後は、軌道にのせ、PTA本部はボランティア窓口として動いていきます。

学校に集まらなくてもLINEやメール等を活用し、効率よく打ち合わせを進めていきます。

改革による組織や仕事のスリム化で、フルタイムワーカーでもPTA本部役員を経験できる体制を目指しています。

やってみたいと思っただけの魅力的なPTA本部にしていきます。

⑤ ボランティア制移行スケジュール案

	2020年 1 2月	PTA会員へアンケート配布
	3 学期	アンケート結果報告
	3 学期	トライアルにむけての準備
	2021年 4 月	2 0 2 1 年度 トライアルスタート
	5 月	PTA総会
		懇談会后よりボランティア募集
		PTA会員より随時トライアル中の質疑、 改善点をいただく。
	2022年度	PTA総会にて会則変更審議

4. アンケート設問の補足や経緯説明

PTA会則を変更するには十分な検討が必要です。

2021年度トライアルで1年間のお試し期間の後、
問題点等を改善していき、会則変更へと動いていきます。

今年度は例年とは大幅に学校行事の変更、PTA活動が大幅に削減、
休止となっていることもあり、特に第1子が1学年のPTA会員の皆様には
各アンケート項目についての内容が不明な点もあると思われます。

その点も踏まえ、次ページより補足及び改革案を提案することになった
経緯も説明いたします。



委員廃止につきまして

・ 1 児童 1 役員のルールは？これまでルールにのっとり、積極的に役員経験した方々への配慮は？

→ 子供たちのために積極的に役員を経験下さった方々には感謝気持ちでいっぱいです。持続可能なPTA活動をしていくには、時代に合わせて変えていかなければなりません。トライアル中も是非ご助言をお願いします。

今後また委員や係が必要になった場合、これまでの役員・委員経験者は免除対象にさせていただきます。

本部役員を引き受けてくれた方も、今後係や委員の選出をすることになった場合のために、本部役員特典の10年免除は継続となります。



【会議と運営について】 アンケート設問 1 - 1

定期総会を必要であれば集会形式のみではなく、WEB又は書面にて行うことについて

定期総会とは

PTAの最高議決機関です。全会員をもって審議を決定していきます。
会員の5分の1（委任状を含む）以上の出席が必要。
年度内に1回開催され、①前年度の決算（会計）や活動の報告
②新年度の予算（会計）や活動計画の提案 ③新役員の承認が行われます。

実績

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校措置背景により、ウェブ総会を開催しました。
総会資料は駒西小学校HPへ掲載。

改革

2020年度のような感染症や社会情勢において、総会を集会形式だけではなく、WEB又は書面総会へ

懸念

Q.異議、質問がある人はどうすればいいのか？
→質疑異議等はPTAメールにて受け付け、十分な検討期間を設定し、慎重に審議を行います。

【学級委員及び学級委員会について】 アンケート設問 2 - 1

学級委員とは

各学級PTAから1名選出。

PTA会則 第24条 学級PTAは学級の全会員をもって構成し、次の任務を行う。

1. 学級と家庭との密接な連携を図り、児童の教育に関する意見の交換を行う。
2. 学級経営に対して協力・援助を行う。
3. 運営委員会の意思の疎通を図る

時代の流れで、現状の組織では、学級と家庭との密接な連携を図り、児童の教育に関する意見の交換を行う場が実質は行われていない。

改革

学級委員及び学級委員会の廃止

懸念

Q. 学級委員は学級と家庭との密接な連携を図り、児童の教育に関する意見の交換を行う事が本来の目的では？どうするのか？

→ PTAメール等にてご意見をいただき、PTA本部会にて意見交換を行います。

Q.各クラスにおける、連絡事項等はどのようになるのか？

→書面や一斉メール等での連絡となります。個人情報保護によりクラス連絡網が廃止されております。

【学級委員及び学級委員会について】 アンケート設問 2 - 2

運動会のお手伝いをボランティアにすることについて

これまで運動会での仕事は、学級委員が運動会の当日に

- 新入生徒競走の手伝い
 - 後片付け
- を行いました。

改革

- ・ 学級委員廃止に伴い、ボランティアにて運動会の手伝いを行う
- ・ 当日PTA本部より放送にて片付けのご協力をお声かけします。
- ・ 係活動となっている1, 2年生の児童席での補助手伝いについても、ボランティアにてトライアルを行いたいと考えています。

懸念

- Q. ボランティアの人数が集まらない場合にはどうするのか？
- 無理のない範囲で進行するようシミュレーションしております。



【学級委員及び学級委員会について】 アンケート設問2-3

PTA会費の集計を本部役員のみで担うことについて

PTA会費の集計

これまで学級委員と本部役員で集計、チェック作業をしておりました。

実績

2020年度は学級委員の選出無しに伴い、PTA本部役員のみで集計

実際に集金作業をしてみて、PTA本部役員のみでもスムーズに行えました。

改革

PTA本部役員でPTA会費の集計作業を行う



懸念

Q.本部役員のみで集計を担当し、不正など行われるようなことはないのか？

→会計監査による第3者の監査により万一の不正を防ぎます。

【学級委員及び学級委員会について】 アンケート設問2-4 6年生卒業関連対応をボランティアにすることについて

卒業関連対応

これまで6年生の学級委員が卒業関連対応をしておりました。
卒業関連対応とは：6年生担任の先生への卒業時に渡す記念品（何を渡すかは委員で決める）

実績

2020年度は学級委員の選出無しに伴い、6年生保護者にボランティアを募集しました。応募をいただき、ボランティアで進めています。

改革

ボランティアにて行う

懸念

Q.ボランティアの希望が出ない場合にはどうするのか？

→PTA本部で花を用意します。



【広報委員について】アンケート設問3-1, 3-2

広報委員及び広報委員会を廃止及びボランティアにすることについて

広報委員

PTAの活動、学校の活動の様子を伝え、会員同士の意見交流を行うために広報誌【駒】を定期的に発行。各学級1名選出。2019年度は広報委員が前期、後期に分か担当を分れ、2回発行。

実績

2020年度は広報委員の選出無しに伴い、PTA本部で駒特別号を発行(11月)。

ネットプリントを利用し、これまでの5分の1の費用にて発行。学校側に写真の手配を依頼し、最新の学校の活動の様子を伝えることができました。PTA本部内にてアイデアを出し合い、前例踏襲にとらわれず、費用削減もさることながら、子どもも保護者も楽しめる、学校の様子を知ることができる内容を目指しました。

改革

ボランティアにて行う

懸念

Q.ボランティアの希望が出ない場合にはどうするのか？

→できる人が、できる範囲での活動として、ボランティアの応募がない場合には、活動のお休みもする等と柔軟に活動できればと思います。

Q.広報誌はWEB掲載にしたらどうか？

→先生紹介含め、個人情報保護の問題で、内容によってはWEB掲載が出来ません。また、広報誌廃止のお声も頂いておりますが、今年度のように学校に行く機会が激減するような年は、学校の様子を保護者に知っていただくためにも必要ではないかと考えております。現状では紙ベースでの発行が望ましいのではないかとと思います。

【成人厚生委員について】 アンケート設問 3-1、3-2、3-3

成人厚生委員及び成人厚生委員会を廃止することについて

成人厚生委員

給食試食会を行う。ベルマークの仕分け・集計・発送をし、教育活動への資金協力をを行う。

実績

2020年度は学級委員の選出無しに伴い、PTA本部で可能な範囲でベルマーク運動を進行。

- ・ベルマーク運動案内書面による通知
- ・ベルマークは通年各クラスにて回収
- ・仕分け、集計、発送を可能な限りで進行中

改革

ボランティアにて行う

懸念

Q.ボランティアの希望が出ない場合にはどうするのか？

→参加できる方々で無理のない範囲で活動していきます。
また、子供たちがベルマーク運動にも関わり、親子で楽しく活動ができるような体制や、ベルマーク運動にPTA会員が関わる負担を減らす策を検討しております。

Q.通常のベルマークはやめて、ウェブベルマークのみにしたらどうか？

→ウェブベルマークへの登録者が、PTA会員世帯数の7分の1程度と利用率が少なく、まだまだ周知されておられません。時代の流れと共に移行も検討材料ではあります。

Q.給食試食会はどうするのか？

→PTA本部で家庭教育学級の一環での開催候補の1つとして検討します。

【推薦委員について】アンケート設問5-1、5-2

推薦委員及び推薦委員会を廃止することについて

本部役員推薦委員

各学級PTAから1名を選出。本部役員選出に必要な一切の業務を行う。他、本部役員推薦委員会の業務規程に基づく。

実績

2020年度は推薦委員の選出無しに伴い、PTA本部で推薦活動を進行中。

改革

推薦委員廃止

懸念

Q.推薦委員会廃止により、次年度役員の選出が困難にならないか？

推薦活動自体に本部役員がこれまで慣例で関わることが出来ず、本部の仕事内容などを具体的に候補者にお伝えができませんでした。

今年度はPTA本部役員による推薦活動で、本部活動の状況をリアルにお伝えする事ができており、候補者も本部もお互いがコミュニケーションをとりやすくなっています。

【会計監査について】 アンケート設問 6 - 1

2年毎に2名選出から、毎年1名選出することについて

会計監査

決算の監査を行い定期総会へ報告。会計監査は原則として前期と後期に分けて実施。任期2年。

背景

これまで2年毎に2名選出。前任との引継ぎなし。

改革

2年毎に2名選出から、毎年1名選出
任期は変わらず2年。

Q. 2021年度に2名選出。その後はどう進めるのか？

→ 2022年度に1名選出。2022年度は会計監査が3名となります。
2023年度より1名選出していきます。



【本部に関して】 アンケート設問7-1

副会長の人数を2名～7名とすることについて

副会長

保護者により2～6名、教職員により1名にて構成。

保護者は1年目、2年目と半々で構成されている。会長を補佐し、会務を遂行。

背景

希望すれば、1年目は副会長、2年目は会長というスライド制を可能に。副会長の仕事をしながら、会長任務を把握していくことが可能になります。

改革

副会長の人数を2名～7名

懸念

Q.副会長に就任したら、翌年は会長を務めなければならないという圧はないのか？

→スライド制はあくまでご本人が希望する場合のみです。副会長になったら、誰かが翌年会長にならなければならない事ではありません。会長に興味がある方がまずは副会長から経験し、会長業務の引継ぎを受けながら2年目に会長に就任できます。

アンケート設問 8 - 6 : 給食試食会について

給食試食会

成人厚生委員会が担当する給食試食会。
例年、家庭教育学級*の一環として給食試食会を開催。



アンケートの背景

家庭教育学級*の一環で給食試食会を毎年開催しています。
近隣小学校では給食試食会を実施していない学校もあります。
開催を必須ではなく、年間の家庭教育学級の選択の1つとして、本部内で検討していければと思います。給食試食会の希望がどのくらいあるのかを本部で把握、今後に生かしたいため項目に入れさせていただきました。

*家庭教育学級とは：平成20年に社会教育法が改正され、家庭教育に関する学習機会の一層の充実が法律に明記されました。ふじみ野市教育委員会では、このような背景を受け、健全な児童生徒の育成と、家庭教育力の向上を図ることを目的として市内小中学校での家庭教育学級の開催を要望。

アンケート設問 8 - 7 :

本部の活動内容について :

フルタイムの方でも必要であればPTA活動を土曜日の午前中に活動することについて

アンケートの背景

フルタイム勤務のPTA役員と平日に主に活動するPTA役員との打ち合わせや作業等、フルタイム勤務の方がPTA本部の活動に参加しやすくなるように土曜日の活動の要望を以前よりいただいております。

学校外の会議スペース等を利用して、頻回ではなく、必要があれば土曜日活動もという前提で、PTA会員の皆様のご意見をいただきたく、アンケート項目に入れさせていただきました。

さいごに

PTA本部の考えるPTAの在り方

戦後日本にPTA（Parent-Teacher Association）の考え方が導入され約70年、時代、地域や社会事情とともにPTAの在り方は変わってきております。

「6年間に必ず一度やる」、学校によっては「ポイント制」や「活動免除の条件」などのルールをつくり、「義務」としているだけでは、PTA活動を持続可能なものにしていくための根本の問題は解決されません。

「仕事内容を見直し、魅力的な活動にすること」と「活動内容をPTA会員にアピールすること」

強制ではないのに「“やってみたい”と思えるようなPTAにしていくこと」がPTA本部役員として必要なことだと思っております。

やりたいと思えるPTA活動へ
強制ではなく、自主的なボランティアへ



駒西小学校PTA本部

より良いPTA活動のため、どうぞトライアルへのアンケートご回答宜しくお願いします

できる人が
できる時に
できる事を

